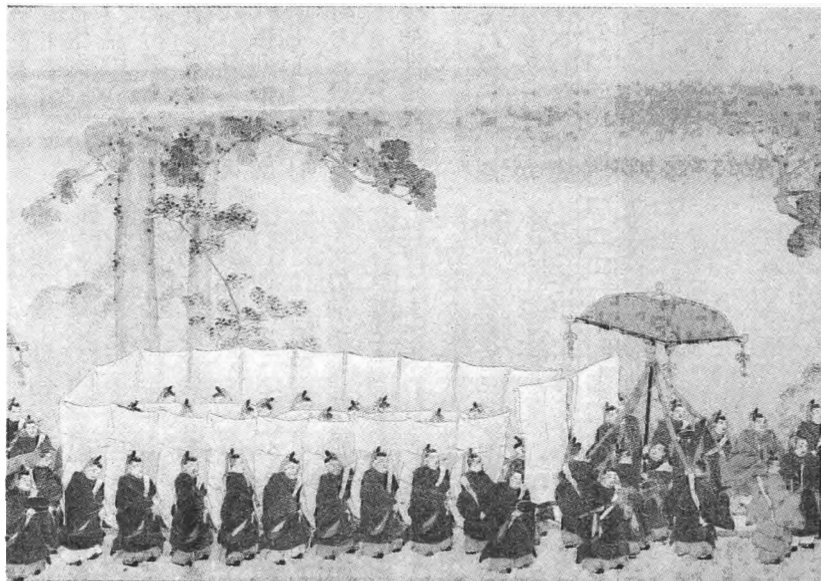




平成5年10月

よみがえる日本のこころ 御遷宮



社報
あそみや

平成5年6月1日
第9号
発行所
阿蘇神社社務所
多良見町化屋名862
TEL 0957-43-5235

皇太子殿下の御成婚を寿ぐ

宮司 大島 大明

皇太子徳仁親王殿下の御成婚を心よりお祝い申し上げます。この御慶事は日本国民が斉しく待ち望んでいた事であり、先例に倣い厳粛に執り行われることをお祈り申し上げます。

阿蘇神社では六月九日に皇居賢所の大前において挙行されます御成婚に併せ、御成婚報告祭を斎行し、奉祝行事を挙行いたします。

氏子各位には、多数ご参列賜りますようお願い申し上げます。

またこの御慶事を祝って化屋名より浮立が奉納されます。十年ぶりに披露される浮立をご家族揃って是非ご覧下さい。
なお、浮立は神社に奉納した後、地区内の庭先廻りを行なうことになっていきます。

◇六月九日の予定
午前九時 皇太子殿下御成婚
奉祝祭・奉祝式典
十時 浮立奉納
於 境内広場

敬神生活の綱領

神道は天地悠久の大道であって、崇高なる精神を培い、大平を開くの基である。

神慮を畏み祖訓をつぎ、いよいよ道の精華を発揮し、人類の福祉を増進するは、使命を達成する所以である。

ここにこの綱領をかかげて、向かふところを明らかにし、実践につとめて以て大道を宣揚することを期する。

一、神の恵みと祖先の恩とに感謝し、

明き清きまことを以て祭祀にいそしむこと

一、世のため人のために奉仕し、

神のみこともちとして世をつくり固め成すこと

一、大御心をいただきてむつび和らぎ、

国の隆昌と世界の共存共栄とを祈ること

節分祭終了

二月三日阿蘇神社恒例の節分祭が斎行された。多良見町商工会の後援協力を得ての節分祭も、今年で十二回を数えます。

午後五時、神殿では新春を迎える節分祭が神社総代参列のもと厳肅に斎行され、引き続き境内で旧年中のお神札・お守り・破魔矢などを焼く火焼(ほやき)神事が行われ、祝詞奏上の後神社総代により火が着けられた。

開運招福の豆撒き行事には、西(とり)歳生れの善男善女十七名が三回に分かれて奉仕された。裃姿

で被いを受け、拜殿内での豆打ち神事の後、境内の特設舞台上に上がり「福は内、鬼は外」の掛け声合わせ豆撒き行事を行った。境内には商工会の成年部・婦人部などの協力による出店が並び、商社よりの景品がついた福豆を拾う人で境内は埋めつくされた。豆撒きの合間には、阿蘇神社クロスワードクイズの抽選会、子供を対象としたクイズなども行われ、節分の神社は遅くまで賑わいました。

準備から後片付けまで、商工会関係の皆様方にはご苦勞をお掛けいたしました。心より感謝とご慰勞とを申し上げます。

☆景品寄贈の御礼☆
節分祭の豆撒きの景品を以下の商社より賜りました。ご芳名を記し御礼申し上げます。《敬称略》
竹中カメラ、江崎クリーニング、もり玩具店、ブックスマヤまさき、長崎新菱農機、花 椿、ツーワンスポーツ、うしちゃん、寺尾電器、ヘアサロン男爵、めぞんどぼーて、陶器のはなぶさ、十善商店、尚美堂、ひまわり、アクテップ、ニットわたなべ、松すし、ブーフーウー、駅前酒店、フレッシュジュップもりうち、マルエイ、吉田食販、井手陶器、諸岡薬品、スパーあづま屋、ファッションハウス・マツ



ヤ、青果のもろおか、喜々津美容室、松尾べっ甲、(有)北川石油、多良見みづほ清掃社、(有)丸創建材店、十八銀行、諫早信用金庫、親和銀行、(有)森商会、(有)鍛塚組、多良見町商工会、たらみスタンプ会 以上

紀元祭終了

皇紀二六五三年の紀元祭(建国記念奉祝祭)が二月十一日、午前十時より厳肅に斎行された。祝詞奏上の後、都山流尺八愛好会(会長山口多好氏)により『朝の海』の奉納演奏され、次いで『紀元節』の歌を尺八の伴奏に合わせ、参列者全員で声高々に斉唱した。祭典終了後社務所で直会を行い、建国記念の日を祝った。

◎紀元祭への奉納御礼《敬称略》
神饌米 山口充喜

初穂料 中村 堯、親和銀行多良見支店長・浅川和之、石丸義雄、辻ミツ、倉永みさを、川嶋作蔵、都山流尺八愛好会、佐藤 晶、村瀬清明 以上

◆神社総代の移動 四月一日付
市布名総代 退任 峰 公治 殿

就任 松尾正一 殿

阿蘇神社の由緒と鯉

当阿蘇神社の御本社は、ご承知の通り熊本県一の宮に鎮ります。旧官幣大社阿蘇神社で、御祭神は健甕龍命（タケイワタツノミコト）を主祭神として、十二柱の神々をお祀りしています。古来より肥後国一宮と称され、国土開発の守護、農耕の神として広く崇敬されておられます。御分霊をいただく御分社は、熊本県を中心として九州各県に五〇九社（熊本県・四六一社、大分県・三三社、福岡県・七社、宮崎県・五社、長崎県・四社）を数えまた、九州以外には十四社が阿蘇神社の御分社として奉斎されています。

（御本社発行の冊子に依る）
当阿蘇神社は社伝によると、天文三年（西暦一五三四年）甲午仲秋九月、当時喜々津を管領していた諫早の領主西郷石見守が、領内の平安無事を祈念するため、一の宮の御本社から勧請されました。当初は木床の地を選び、社殿を建立して祭られました。その後九十餘年を経て現在の地に遷座され

ました。それで現在の地を阿蘇ノ島と称することとなったと云います。爾来喜々津の総鎮守として広く崇敬を集め、明治七年五月に村社に列しています。昭和五十九年に御鎮座四百五十年を迎え、記念事業として御社殿の改築と境内の整備事業が実施され、平成四年には社務所の改築も完了いたしました。これらは全て氏子崇敬者よりの浄財で行なわれております。

なお旧の宮居にはその後、年神社の神が奉祀され、地元の人々により管理されています。

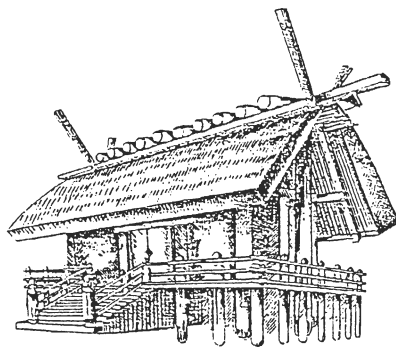
鯉（なます）は御本社においては大地を司る主・湖水の主として尊ばれ、鯉の霊を祀る祠（鯉社）もあり、地震などない大地の平穩無事が祈られています。当阿蘇神社でも従前は神社前に鯉池があり、鯉は神様のお使いとして大切にされてまいりましたが、国道の拡幅工事に協力して廃池となりました。この様に当社を始め全国の御分社の氏子は鯉を尊び、決して食べることはいたしません。

故に御神徳も鯉病（白班の出る皮膚病）には特に靈験あらたかであり、古来より鯉病の平癒祈願が多かったようです。

神社 Q & A

千木と鯉木

一般の住宅と違い、神社建築で最も特徴があるのが、社殿の棟に取り付けられている千木と鯉木でしょう。その語源については様々な説が有りますが、千木（ちぎ）は太古に家を建てるとき材料を左右から交叉し、交叉した部分を結びその上を切り捨てな



かった形であり、鯉木（かつおぎ）は屋根を葺く茅などで葺いた後、その棟の押さえとして丸太などを結び付けたものの遺風です。現在では共に装飾的な物となっており、その本数は一定していませんが、私たちの祖先が残してくれた美しい建築様式です。

地鎮祭は単に「じちんさい」と云いますが、正しくは「とこしずめのまつり」と読みます。人生儀礼があるのと同様に家を建てるにも様々に儀式があります。地鎮祭の歴史は古く、持統天皇の御代に行われた記録もあります。工事の安全と大地の平安堅固を祈るお祭りです。地鎮祭のほかにも立柱祭、上棟祭、新築家祓など家を建てるに当り、祖先は常に感謝の心を忘れず、工事の節目節目の祭りをこなしてきました。

因みに伊勢神宮では、内宮の鯉木は十本、外宮は九本とされ、また千木については、内宮では先端を水平に（内削ぎ）切り、外宮では縦に（外削ぎ）に切っております。

長崎県神社庁では、地鎮祭を主として祭りの意義から準備までを写真入りで判り易く纏めて、小冊子『地鎮祭のしおり』を作成しました。将来地鎮祭をしようとする方、また建設業関係の方には無料で頒布しておりますので社務所までお越し下さい。

平成五年宮中歌会始

御製

外国の旅より帰る日の本の空赤くして富士の峯立つ

皇后宮御歌

とつくにのいまし果て夕映ゆるふるさとの空に向ひてかへる

お題「空」

恒例の宮中歌会始に

詠進をしてみませんか。

歌会始は室町時代から行われておりましたが、今日のように、一般からの詠進歌が披露されるようになったのは明治十二年からです。皇室と国民をつなぐ新春恒例の行事に参加してみたいかがでしょうか。

◎詠進要領

- 一、詠進歌は、自作の歌で一人一首とし、未発表のものに限る。
- 二、用紙は半紙（和紙）とし、毛筆で自書のこと。
- 三、書式は、半紙を横長に用い、右半分にお題と歌、左半分に郵便番号、住所、氏名（本名、ふりがなつき）、生年月日及び職業（なるべく具体的に）を縦書きで書く。

無職の場合は単に「無職」と書いても差し支えないが、以前に職業に就いたことがある場合には、なるべく元の職業を書く。

なお、主婦の場合は、単に「主婦」と書いても差し支えない。

◎詠進の期間

九月三十日までとし、郵送の場合は、消印が九月三十日までのものを有効とする。

◎郵便の宛先

「〒一〇〇 東京都千代田区千代田一番一号 宮内庁」とし、封筒に「詠進歌」と書き添える。詠進歌は、小さく折って封入しても差し支えない。

以上について疑問があれば、直接、宮内庁式部職あてに、郵便番号、住所、氏名を書き、返信用切手をはった封筒を添えて、九月二十日までに問い合わせること。となっています。

◆奉納御礼◆

昨年末以降、以下の通り奉納賜りました。御厚志を感謝し心より御礼申し上げます。

◎新年献米 勝木 博殿 献酒 やきとり代官殿

十善商店殿

◎拜殿前玉砂利

有限会社 森 開発殿

株式会社 アール殿

◎拜殿前絵馬掛 一基

有限会社 徳永建設殿

◎篝火台 一对

化屋区有志殿

村瀬 満明殿

永門 信義殿

◎神 二十本

田中 秀穂殿

◎テント一張 喜々津中学校第二十一回卒業生有志

◎拜殿用幕一張

長崎市 関山 祥一殿

関山 長敏殿

社務所改築工事寄付者

追加寄付者芳名

あそみや第八号発行以降寄付をいただきました。御芳名を記し御礼申し上げます。

喜々津団地 多賀 寿格殿

有難うございました。

阿蘇神社クロスワードパズルに多数の応募が有りました。有難うございました。パズルの答えは「ナマズ」でした。厳正な抽選の結果、以下の方が見事当選となり、早速阿蘇神社オリジナルテレフォンカードをお送り致しました。

◎当選者（二十名） 《敬称略》

- 高屋めぐみ・長木恵美子・吉村政徳・犬塚麻美・高屋奈美子・溝上元治・丸山キヌ・福田直樹・福島早苗・小川規子・小野清子・高藤真智子・三好ひろみ・山崎功雄・峰 純一・内山美桜子・田尻裕紀・石場久子・溝上由紀子・田尻俊子

あとがき

社報第九号をお届けします。◇伊勢神宮の第六十一回式年遷宮もいよいよ十月に斎行されます。◇神社では明年春に参宮（お伊勢参り）を計画しています。後日案内をいたしますので、是非ご参加下さい

◎大駐車場完備（阿蘇神社裏）

イーグルパチンコ

神社参拝の駐車場としてもご利用下さい